

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		地域活動支援センター事業				
	担当課・係名		保健福祉課 保健係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	04 衛生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 保健衛生費	小分類		01 障害者福祉の充実		
	目	06 地域活動支援センター費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		5,671	5,594	7,021	7,020	7,160
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	50	396	513	579	534
		一般財源	5,621	5,198	6,508	6,441	6,626
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
心身に障害を持つ自宅療養者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・再発予防</li> <li>・自身が望む社会復帰に向けての訓練の場</li> </ul>							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・手工芸品作り</li> <li>・農作業</li> <li>・外部販売</li> <li>・町まつりへ参加</li> <li>・レクリエーション等</li> </ul>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホーム開設後10数年が経ち、活動の成果で就労できた方・就労B施設へ通う方が出てきて いる。しかし、なかなか成長がみられず足踏みしている方の指導が課題となっている。</li> <li>・在宅療養中でなかなか外へむかえない方へのアプローチが十分にできていない。</li> <li>・平成25年度地域活動センターへの移行となった。指導員が定着しないため、その対策が必要である。</li> <li>・平成29年10月より色麻町社会福祉協議会による指定管理事業所の運営となっている。</li> </ul>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
障害者総合支援法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	活動日数	単位： 日	実績値	242	245	244	
			目標値	242	245	244	
定義	年間稼働日数						
B	延べ利用者数	単位： 人	実績値	1,138	1,628	1,345	
			目標値	920	930	940	
定義	精神・知的障害者等の延べ利用者数（一般相談者含む）						
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	新規利用者数	単位： 人	実績値	1	1	1	
			目標値	1	1	1	
定義							
B	活動支援センター 卒業者数	単位： 人	実績値	1	0	0	
			目標値	1	1	1	
定義	障害福祉サービスや一般就労に結びついた方						

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	3
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 11	・平成29年10月より色麻町社会福祉協議会による指定管理事業所の運営となり、より細やかな支援ができる体制づくりを目指している。指定管理事業となり冬季間など今まで定期的な利用ができなかった方も定期利用が可能となった。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	3
イ 目的を達成するために有効な事業である	3
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	3
評価の説明 点数 9	障害福祉の拠点としての機能を兼ね備え、さらに発展させる必要がある。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	3
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	3
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 11	指定管理となり、費用は増加している。 自立支援を受けていない方や、現況の制度の利用に該当しないがサービスが必要とされる方の受け皿として利用が可能となっている。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	3
評価の説明 点数 3	地域に開かれた活動支援センターとしての普及が必要 新規の利用者、利用者中の就労移行者を増やしていく必要がある。

⑪	課長総括評価 合計点 34 今後の方向性	家から出られない人に対する支援、利用者を就労につなげられるような支援をしていく。 改善の上継続
---	----------------------------	--

⑫	二次評価 今後の方向性	
---	----------------	--

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		大崎地域広域行政事務組合 負担金 (ほなみ園)				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		01 社会福祉総務費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費 (千円)		1,587	1,587	1,635	1,635	2,269
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,587	1,587	1,635	1,635	2,269
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象 (誰、何を対象にするのか)						
発達遅延、情緒や言語に障害のある未就学児							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
発達遅延、情緒や言語に障害のある未就学児が集団や個人との関わりを通じて生活習慣や自立能力の向上に努めることを目的に運営している大崎地域広域行政事務組合ほなみ園への負担金である。							
⑤	事業概要						
福祉型児童発達支援センターとして、児童発達支援、保育所等訪問支援、障害児相談支援及び特定相談支援、地域支援事業 (みんなの広場、公開講座、療育連絡会議) を行っている。H30年度から医療的ケアが必要な児の受け入れを行っている。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等 (法律・条例・要綱等)						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A	利用者数	単位： 人	実績値	2	1	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 発達遅延、情緒や言語に障害のある児童にとって無くてはならない施設であり、町が負担することは必要である。	
点数 15	
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 発達遅延、情緒や言語に障害のある児童が、就学前に集団や個人との関わりをとおして生活習慣や自立能力を向上させるためには有効である。	
点数 15	
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 大崎圏域1市4町の人口割で算出している。	
点数 15	
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 利用者は平成29年度で卒園したが、今後の利用者のためにも継続していく必要がある。	
点数 5	

⑪	課長総括評価 法令外負担金
合計点 50	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		心身障害者医療費助成事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		05 心身障害者医療対策費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		14,593	14,336	15,644	14,747	16,244
	財源 内訳	国県支出金	7,149	7,153	7,150	7,353	8,100
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	7,444	7,183	8,494	7,394	8,144
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	町内に住所を有する心身障害者（生活保護受給者を除く）						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	心身障害者の医療費の一部を助成し、医療を確保することにより心身障害者の福祉増進を図ることを目的とし、心身障害者とその家庭の医療費の経済的負担軽減と福祉向上を目指す。						
⑤	事業概要						
	心身障害者が医療機関で支払った医療費自己負担額を上限として助成する。  ※受給者数 ・ H21年度 175人 ・ H22年度 173人 ・ H23年度 162人 ・ H24年度 164人 ・ H25年度 165人 ・ H26年度 165人 ・ H27年度 179人 ・ H28年度 178人 ・ H29年度 170人 ・ H30年度 163人						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
	ここ数年は件数、金額とも横ばい傾向で安定しているが、高額医療を要する対象者が出ると事業費が一気に増加する可能性がある。令和元年10月から精神障害者保健福祉手帳1級所持者も助成対象となり、受給者数の若干の増加が見込まれるため、状況把握しながら実施していく必要がある。						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	・ 色麻町心身障害者医療費の助成に関する条例						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	受給者数 単位：人	実績値	178	170	163	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）					
		指標名			H28	H29	H30
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	医療費の助成により障害者への医療受診の支援となっている。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明 点数 14	障害者が経済的な負担を気にせず医療を受けられる。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	条例等に基づいて執行されており効率が高い。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	概ね計画通りに推移している。

⑪	課長総括評価 現状のまま継続する。 合計点 49
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		障害者福祉総務事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		01 障害者福祉の充実		
目	07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無			<input type="checkbox"/>		
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		8,839	8,487	6,531	6,226	3,290
	財源 内訳	国県支出金	587	572	220	174	418
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	8,252	7,915	6,311	6,052	2,872
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病と認められる者</li> <li>・加美郡障害支援区分認定審査会事務局</li> </ul>							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者福祉に関する事業を円滑に行う。</li> <li>・障害者福祉サービスを利用する際、希望者の障害支援区分を審査・認定することにより、障害者の身体状況にあったサービスの支給量を決定する。</li> </ul>							
⑤	事業概要						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・介護給付費審査支払事業</li> <li>・加美郡障害支援区分認定審査会事務局の運営に関する費用の負担、審査時に必要な医師意見書作成料</li> </ul>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
障害者総合支援法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	審査件数	単位：件	実績値	10	16	10	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	4	

⑪	課長総括評価	現状のまま続行する。
合計点	49	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		更生医療給付事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		01 障害者福祉の充実		
	目	07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		6,000	5,726	6,000	4,996	6,000
	財源 内訳	国県支出金	4,500	5,364	4,500	4,632	4,500
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,500	362	1,500	364	1,500
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体障害者手帳保持者で18歳以上の人。							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
身体障害者の障害を軽減又は除去し、日常生活を容易にすること。							
⑤	事業概要						
障害に対する治療を行い、日常生活、社会生活の能力向上、又は職業能力の回復・向上・獲得を図ることを目的とし、その必要な医療の給付を行う。 慢性腎不全、人工透析、心臓、人工関節等の手術							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
障害者総合支援法							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	延べ利用件数	単位：件	実績値	30	39	56	
			目標値	0	0	0	
定義 入院通院合計							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	障害者総合支援法に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	5
評価の説明 点数 5	障害者総合支援法に基づく事業

⑪	課長総括評価 身体障害者への医療による支援策として確立されている。
合計点 49	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		育成医療給付費事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		01 障害者福祉の充実		
	目	07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		260	181	257	219	260
	財源 内訳	国県支出金	180	180	180	156	180
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	80	1	77	63	80
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体に障害のある18歳未満の障害児							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
将来の機能障害を除去・軽減するための治療に要する費用を給付することを目的とする。							
⑤	事業概要						
身体障害を除去・軽減する手術等の治療を行うことで確実に効果が期待できる者に対して、治療に要する費用の給付を行うもの。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
児童福祉法							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A	延べ利用件数	単位： 件	実績値	7	6	11	
			目標値	0	0	0	
定義	入院通院計						
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
	指 標 名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	児童福祉法に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	児童福祉法に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	児童福祉法に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	児童福祉法に基づく事業

⑪	課長総括評価 障害児が将来の機能障害を除去・軽減するために行う治療の支援策として確立されている。
合計点 48	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		補装具給付事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		01 障害者福祉の充実		
目	07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>					
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,830	2,642	2,000	1,430	2,500
	財源 内訳	国県支出金	1,834	2,039	1,800	1,115	1,875
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	996	603	200	315	625
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体障害者手帳等所持者							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
日常生活を営むのに支障のある身体障害者に対し、その負担を軽減し社会参加を促進させることを目的とする。 身体障害者にとって、日常生活の助けとなる車椅子、義肢、補聴器等は必要不可欠であり、社会参加に効果を上げる。							
⑤	事業概要						
身体の不自由な部分を補って、日常生活や職業生活を容易にするため、補装具の交付や修理を行う。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
障害者総合支援法							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A	延べ利用件数	単位：件	実績値	14	18	20	
			目標値	0	0	0	
定義 補装具の交付及び修理計							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	障害者総合支援法に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	障害者総合支援法に基づく事業

⑪	課長総括評価 障害者の必要に合わせて補装具の改良もされているので、社会参加を助長する役割と重要性は高まっている。 合計点 48 今後の方向性 <input type="text" value="現状のまま継続"/>
---	--

⑫	二次評価 今後の方向性 <input type="text"/>
---	-------------------------------------

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		身体障害者日常生活用具給付事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
総事業費（千円）			2,000	1,573	1,800	1,608	2,200
財源 内訳	国県支出金		1,078	1,018	809	786	1,650
	その他特定財源		0	0	0	0	0
	一般財源		922	555	991	822	550
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体障害者手帳保持者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
日常生活を営むのに支障がある身体障害者に対し、日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図り福祉の増進を図る。							
⑤	事業概要						
身体障害者手帳の障害等級等により給付対象が異なるが特殊寝台、歩行支援用具、便器、浴槽等がある。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
障害者の生活において日常生活用具の役割は必需品であり、日常生活での利便性の確保のためには、無くてはならない物が多い。							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
障害者総合支援法 色麻町地域生活支援事業実施規則							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	延べ利用件数	単位：件	実績値	209	174	170	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法等に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	障害者総合支援法等に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法等に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	障害者総合支援法等に基づく事業

⑪	課長総括評価 障害者の生活において、日常生活用具は利便の確保のために重要性が高まっている。 合計点 48
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		39	39	40	33	101
	財源 内訳	国県支出金	19	19	14	21	49
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	20	20	26	12	52
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	身体障害者手帳保持者で呼吸器機能障害3級以上						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	在宅酸素療法を必要とする呼吸器障害者に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料の一部を助成し、当該呼吸器障害者の生活の安定とその福祉の向上を図ることを目的とする。						
⑤	事業概要						
	対象者の酸素濃縮器の吸入時間、消費電力に基づき法令で定める補助額を月単位で交付する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	宮城県市町村振興総合補助金交付要綱 色麻町在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業実施要綱						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	利用者数 単位：人	実績値	7	4	3	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）					
		指標名			H28	H29	H30
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	県補助事業に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	県補助事業に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	県補助事業に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	県補助事業に基づく事業

⑪	課長総括評価 電気代の一部助成により経済的負担の軽減になっており有効な事業である。 合計点 48
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		介護給付訓練等給付費等事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		01 障害者福祉の充実		
	目	07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		105,770	103,486	106,963	104,514	108,192
	財源 内訳	国県支出金	80,004	79,800	80,770	81,456	81,036
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	25,766	23,686	26,193	23,058	27,156
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体・知的・精神障害者、障害児、難病と認められる者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
身体・知的・精神障害者、障害児、難病と認められる者が居宅サービス（ホームヘルプサービス、短期入所など）や施設サービスを利用することで、安心して生活できることを目的とし、障害者福祉の向上と介護者の負担軽減を図る。							
⑤	事業概要						
「福祉サービス」は、介護の支援を受ける場合には「介護給付」、訓練等の支援を受ける場合は「訓練等給付」に位置付けられ、それぞれ利用の際のプロセスが異なります。ホームヘルプサービス、短期入所、施設入所支援、就労継続支援 等							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
障害者総合支援法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	延べ利用件数	単位：件	実績値	967	1,029	1,059	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	14	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	4	

⑪		
課長総括評価	法律に基づく給付事業であるため、継続していく必要がある。	
合計点	48	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫		
二次評価		
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		障害者相談員設置事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		50	50	51	51	49
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	50	50	51	51	49
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	身体障害者相談員及び知的障害者相談員						
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
	障害者相談員は、障害のある者の更生援護の相談の応じ必要な指導を行うとともに障害者地域活動の推進、関係機関の業務に対する協力、障害のある者に関する援護思想の普及等福祉の増進に資することを目的とする。						
⑤	事業概要						
	身体障害者相談員及び知的障害者相談員各1名を委嘱しており、障害のある者の更生援護に関する相談に応じ必要な指導を行う。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	色麻町身体障害者相談員設置事業実施要綱						
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	相談員数	単位：人	実績値	2	2	2
				目標値	0	0	0
	定義						
	B	相談会開催回数	単位：回	実績値	6	6	6
				目標値	0	0	0
	定義 奇数月に1回開催						
	⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)					
		指標名			H28	H29	H30
A			単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
定義							
B			単位：	実績値	0	0	0
				目標値	0	0	0
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 12	県実施要綱に基づく事業であったが、平成24年度から町に移譲された事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	4
イ 目的を達成するために有効な事業である	4
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 12	県実施要綱に基づく事業であったが、平成24年度から町に移譲された事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 12	県実施要綱に基づく事業であったが、平成24年度から町に移譲された事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	県実施要綱に基づく事業であったが、平成24年度から町に移譲された事業

⑪	課長総括評価 身体・知的に障害のある人が更生援護に関する必要な相談を身近な場所で出来るため、事業を継続すべきである。 合計点 40
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		身体障害者訪問入浴サービス事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		763	763	750	750	875
	財源 内訳	国県支出金	368	476	276	371	656
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	395	287	474	379	219
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
町内に住所を有する在宅の身体障害者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
在宅の身体障害者に対し身体の清潔の保持並びに介護者の負担軽減を図ることを目的とする。 身体障害者の身体の清潔保持と介護者の負担軽減。							
⑤	事業概要						
受託業者の有する移動入浴車により利用者宅を訪問し、入浴サービスを実施する。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
障害者総合支援法 色麻町地域生活支援事業実施規則							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	利用者数	単位：人	実績値	1	2	1	
			目標値	0	0	0	
定義 実人数							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	15	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	4
イ	目的を達成するために有効な事業である	4
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	12	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	障害者総合支援法等に基づく事業	
点数	4	

⑪	課長総括評価	身体が清潔が維持でき、日常生活の支援及び福祉の向上が図られ有効な事業である。
合計点	46	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		障害者相談支援事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		01 障害者福祉の充実		
	目	07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,170	1,170	1,409	1,409	1,543
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	1,170	1,170	1,409	1,409	1,543
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体・知的・精神障害者、障害児、難病と認められる者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
福祉サービス利用等についての相談窓口を設置し、障害者の自立と社会参加の促進を図る。							
⑤	事業概要						
<p>相談支援事業は、障害者、障害児等の介護を行う者などからの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや、権利擁護のために必要な援助を行うことにより、障害者等が自立した日常生活又は社会生活を営むことができる。</p> <p>*町単独では専門職の人件費等がかかる為、1市（大崎市）3町（加美町・涌谷町・色麻町）で共同委託をおこなっている。主な相談内容は、福祉サービスの利用等に関する支援である。</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p>障害福祉サービスを利用する際には計画相談が義務づけられ個別給付とされているが、障害福祉サービスに結びつかないケースにおいては個別給付に結びつかないことから、委託事業で行っている状況である。計画相談を作成する事業書は、指定特定相談支援事業所という。</p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<p>障害者総合支援法 色麻町地域生活支援事業実施規則</p>							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A	相談実人数	単位：人件	実績値	22	21	19	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	4
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明 点数 13	障害者総合支援法等に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	障害者総合支援法等に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	4
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	4
評価の説明 点数 13	障害者総合支援法等に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	障害者総合支援法等に基づく事業

⑪	課長総括評価 障害者等にとって障害福祉サービスの利用等を含めた必要な情報を得ることができ、また権利擁護のためにも有効な事業である。 合計点 44
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		身体障害者デイサービス事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		2,233	2,160	2,362	2,303	2,468
	財源 内訳	国県支出金	0	0	0	0	0
		その他特定財源	213	216	227	230	246
		一般財源	2,020	1,944	2,135	2,073	2,222
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
身体障害者							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
在宅の身体障害者が通所により、機能訓練、社会適応訓練等を行い身体障害者の自立の促進、身体機能の維持向上を図ることを目的とする。							
⑤	事業概要						
デイサービスセンターでの機能訓練、入浴サービス、介護サービス							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
色麻町身体障害者デイサービス事業実施要綱							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A	利用者数	単位：人	実績値	2	2	2	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指標名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	4
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 14	ニーズがあり、現在利用している施設以外に受入れてくれる所がないことから適切と考えられる。
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	障害者の福祉向上と介護者の負担が軽減される。
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	4
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 14	利用者負担は他のサービスと同様であり、適切である。
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	利用者、介護者の負担軽減が図られる。

⑪	課長総括評価 要綱に基づく事業であり適切に行っている。 合計点 46
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		障害児通所施設等給付費事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		9,132	8,766	12,266	11,894	12,066
	財源 内訳	国県支出金	6,847	6,870	7,425	9,187	9,036
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	2,285	1,896	4,841	2,707	3,030
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
障害児							
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
障害児が児童福祉法に基づく児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援を利用し、安心して生活できることを目的とし、障害児の福祉と介護者の負担軽減を図る。							
⑤	事業概要						
障害児が通所系サービスを受ける場合は「障害児通所給付」に位置づけられ、児童発達支援、放課後等デイサービス、保育所等訪問支援を利用の際に給付する。							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
児童福祉法							
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	利用者数	単位：人	実績値	5	8	5	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）						
指 標 名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	児童福祉法に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	児童福祉法に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	児童福祉法に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	児童福祉法に基づく事業

⑪	課長総括評価 合計点 48	法律に基づく事業であるため、継続していく必要がある。
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		

令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		日中一時支援事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
項		01 社会福祉費	小分類		01 障害者福祉の充実		
	目	07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		47	0	60	11	240
	財源 内訳	国県支出金	30	0	21	0	180
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	17	0	39	11	60
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
<p>援護を必要とする障害者等</p>							
④	目的・意図する成果(どのような成果をもたらしたいのか)						
<p>障害者の日中における活動の場を確保することで、障害者等の家族の就労支援及び日中介護している家族の一時的な負担軽減を図ることを目的とし、障害者の福祉と介護者の負担軽減に成果を見込む。</p>							
⑤	事業概要						
<p>障害福祉サービス事業所、障害者支援施設、空き店舗等身近な場所にある社会資源を活用し、障害者等を一時的に預かり、身近な場所での支援サービスを提供する事業である。</p>							
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
<p></p>							
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
<p>障害者総合支援法 色麻町地域生活支援事業実施規則</p>							
⑧	事業の活動指標(事業の活動量を示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A	利用者数	単位： 人	実績値	0	0	2	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
⑨	事業の成果を測る指標(事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値)						
指 標 名			H28	H29	H30		
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価	
ア 町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ 最も適切な方法で行われている	5
ウ 町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法等に基づく事業
有効性の評価	
ア 長期的な効果が期待できる	5
イ 目的を達成するために有効な事業である	5
ウ まちの将来像実現に有効な事業である	4
評価の説明 点数 14	障害者総合支援法等に基づく事業
効率性の評価	
ア 経費は適切かつ最低限である	5
イ 他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ 受益者負担は適正である	5
評価の説明 点数 15	障害者総合支援法等に基づく事業
達成度の評価	
ア 事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明 点数 4	障害者総合支援法等に基づく事業

⑪	課長総括評価 障害福祉サービスの利用が困難な場合及び一時的な利用が必要な場合の事業であり、介護者の負担軽減にも繋がる事業である。
合計点 48	
今後の方向性	現状のまま継続

⑫	二次評価
今後の方向性	



令和元年度実施 色麻町事務事業評価シート

①	事務事業名		療養介護医療給付費事業				
	担当課・係名		保健福祉課 福祉係				
	予算 科目	会計区分	一般会計	基本計 画体系	大分類	01 健やかに生きるチカラ	
		款	03 民生費		中分類	05 地域福祉等の充実	
		項	01 社会福祉費		小分類	01 障害者福祉の充実	
目		07 障害者福祉費	重要推進プロジェクト該当の有無 <input type="checkbox"/>				
②	事業費の推移		H29予算	H29決算	H30予算	H30決算	R1予算
	総事業費（千円）		1,013	992	988	976	1,080
	財源 内訳	国県支出金	810	810	810	702	810
		その他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	203	182	178	274	270
※H29・H30予算は最終予算額。R1は9月補正後の額。							
③	対象（誰、何を対象にするのか）						
	医療と常時介護を必要とする障害者 筋萎縮性側索硬化症（ALS）患者等気管切開を伴う人工呼吸器による呼吸管理を行っている者であって、障害支援区分が区分6の者及び筋ジストロフィー患者又は重度心身障害者であって、障害支援区分が区分5以上の者等						
④	目的・意図する成果（どのような成果をもたらしたいのか）						
	重度の障害者が医療機関で介護を受けながら安心した生活を送ることができる。						
⑤	事業概要						
	医療機関において、医療と常時介護を必要とする障害者に機能訓練・療養上の管理、看護、医学的管理の下における介護などを行う療養介護の費用のうち、医療に係るものを療養介護医療給付費で扶助する。						
⑥	事業を取り巻く状況の変化について						
⑦	根拠法令等（法律・条例・要綱等）						
	障害者総合支援法						
⑧	事業の活動指標（事業の活動量を示す数値）						
	指標名			H28	H29	H30	
	A	延べ利用件数 単位：件	実績値	12	12	12	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	B	単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
	定義						
	⑨	事業の成果を測る指標（事業の目的がどの程度達成されたかを示す数値）					
		指標名			H28	H29	H30
A		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							
B		単位：	実績値	0	0	0	
			目標値	0	0	0	
定義							

⑩ 目的妥当性の評価		
ア	町で行うべき事業である（民間や他の機関で実施する可能性）	5
イ	最も適切な方法で行われている	5
ウ	町民ニーズ及び今の社会情勢に合致している	4
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	14	
有効性の評価		
ア	長期的な効果が期待できる	5
イ	目的を達成するために有効な事業である	5
ウ	まちの将来像実現に有効な事業である	5
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	15	
効率性の評価		
ア	経費は適切かつ最低限である	5
イ	他の類似事業等との連携・調整はできている	5
ウ	受益者負担は適正である	5
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	15	
達成度の評価		
ア	事業の成果指標の目標値に対して実績は上がっている	4
評価の説明	障害者総合支援法に基づく事業	
点数	4	

⑪	課長総括評価	重度の障害者への医療による支援策として確立されている。
合計点	48	
今後の方向性	現状のまま継続	

⑫	二次評価	
今後の方向性		